

オプトアウト文書【2021年3月版】

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210079
研究課題名	膵臓癌のゲムシタビン含有レジメンにおけるステロイド省略による有害事象状況調査
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部 香取史菜
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2021年10月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	膵臓癌でゲムシタビンという抗がん剤を投与する際、吐き気止めとしてステロイドという薬を投与します。膵臓癌の患者さんはしばしば糖尿病を合併しており、ステロイドは糖尿病に悪影響を及ぼすことがあるため、投与量の調節を行う場合があります。しかし、このステロイドの調節によりゲムシタビンの副作用がどれくらい増加するかは分かっていないため、それを明らかにするための研究です。
研究の方法	当院で膵臓癌に対してゲムシタビンを含む化学療法を施行した患者さんについて過去のカルテを調査し、ステロイドの投与量と吐き気、食欲不振、皮疹などの副作用の有無を調べます。
対象者	西暦2018年1月1日～2021年6月30日の間に、当院において膵臓癌でゲムシタビンを含む抗がん剤治療を受けた方
利用する試料/情報	情報等：診断名、使用した抗がん剤、治療期間、ステロイドの投与量、副作用の発現状況。
研究組織	・ 当院単独
試料/情報の院外提供	・ 該当なし
研究資金源	研究者の私費
結果公表	日本臨床腫瘍薬学会で発表予定
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 薬剤部 香取史菜